

令和7年度概算要求（石油流通関連）について

8月30日、令和7年度概算要求（石油流通関連）が発表されましたので、ご連絡いたします。

◆令和7（2025）年度概算要求 92.1 億円の内数（83.5 億円）

なお、令和7年度概算要求の内容（要求額、補助対象、補助率等）は現時点のものであり、今後、財務省との調整や予算審議等を経て確定することに留意願います。

*（ ）内は令和6年度当初予算

I. SSの災害対応能力等の強化 【29.3億円の内数】（22.8億円）

（1）災害時に備えた地域におけるI初給一供給拠点整備事業 7.0 億円（6.7 億円）

1）SSにおける災害対応能力強化に係る設備導入支援 5.1 億円（4.9 億円）

①地下タンクの入換・大型化支援 1.9 億円（1.9 億円）

- 「住民拠点SS」及び「中核SS」等のSSの保有在庫量を増加するための地下タンクの入換・大型化を支援

〔補助率等〕 ※全国SS対象

地下タンクの入換・大型化	【非過疎地】	中小企業：2／3、非中小企業：1／4
	【過疎地】	中小企業：3／4、非中小企業：1／4

②ペーパー回収設備の導入支援 1.0 億円（1.0 億円）

- ペーパー回収設備の導入を支援

〔補助率〕 1／2

〔補助対象〕 揮発油販売業者（SS事業者）

③自家発電設備の入換 2.2 億円（2.0 億円）

- 中核SS等における自家発電設備の入換を支援

〔補助率〕 10／10

Ⅱ. 離島・ＳＳ過疎地対策・地域における新たな燃料供給体制構築

【51.5 億円】（49.4 億円）

(1) 離島・ＳＳ過疎地等における石油製品の流通合理化支援事業

46.2 億円（44.1 億円）

① 離島のカソリン流通コスト対策事業 29.5 億円（29.5 億円）

- 輸送形態と本土からの距離に応じて補助単価を設定し、離島におけるガソリンの追加的な輸送コスト相当分を補助

② 離島への石油製品の安定・効率的な供給体制の構築支援事業

1.7 億円（1.7 億円）

- 離島地域ごとに関係者（自治体、事業者（元売・地元販売店）、需要家など）による検討の場を設け、石油製品の流通合理化策や安定供給体制を構築する取組等を支援。また、離島における油槽所設備の維持に必要な費用の一部を補助

③ 環境・安全対策等 15.0 億円（12.9 億円）

- ＳＳ過疎地を中心として、ＳＳ設備に係る環境・安全対策や流通合理化対策のため、

- ① 地下タンクからの危険物漏えい防止のための補強工事
- ② 地下タンク等の撤去
- ③ 地下タンクの効率化等
- ④ 漏洩点検検査 を支援

[補助率等] ※全国ＳＳ対象

①	漏えい防止対策 (FRPライニング等)	中小企業：2／3	13.25 億円
②	地下タンク等の撤去	中小企業：2／3	
③	地下タンクの効率化等	中小企業：3／4 又は 2／3	
④	検知検査	中小企業：1／3	1.75 億円

(注) 補助率は全国同一